

平成 23 年度 第 5 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 23 年 8 月 17 日（水） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 40 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 23 年度決算見込み（6 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 23 年度決算見込み（6 月末現在）について報告する。

(2) 平成 23 年度医療安全への取り組みについて

【説明】中央病院

平成 22 年度の医療安全対策として、KYT（危険予知トレーニング）研修や医療事故想定訓練等の取り組みについて報告する。また、平成 23 年度の取り組みについても説明する。

【質疑等】

海部病院：インシデント・アクシデントレポートについて、電子カルテが更新になったため、今まで「リスクマネージャー」だったのが、「セーフティマネージャー」に替わった。ただ、今もリスクマネージャーを使っている。同時期に電子カルテを更新した中央病院はどうしているのか。

中央病院：既に平成 21 年度からセーフティマネージャーに替えている。

【説明】三好病院

平成 22 年度の医療安全に対する取り組みとして、医療安全研修会や ME 機器研修会等の院内研修の実施状況について報告する。また、平成 23 年度の医療安全センターの取り組みについて説明する。

【質疑等】

管理者：平成 22 年度の転倒・転落の件数は平成 21 年度と比較して、28 件減少しているが、何か特別な取り組みを行ったのか。

三好病院：平成 22 年 11 月の病院機能評価の受審に向けて、ガイドラインを作成し、患者さん等に周知した。

三好病院：転倒・転落の件数は減っているが、実務の上でそういった感覚がないのが実状である。

【説明】海部病院

平成 22 年度の医療安全活動について、医療安全ラウンド、ヒヤリ・ハット報告会等の取り組みを報告する。また、今後の課題についても説明する。

【質疑等】

管理者：インシデント・アクシデントレポートの提出状況が部署によって全然違うとのことだが、義務化まではしなくても、何とかしてすべての部署からレポートが出てくるようにしなければならない。看護局が一番分かっているだろうから、ほかの部署に遠慮せずアドバイスをしていくことが大事だと思う。

海部病院：現在、研修が全体研修しかないので、部署ごとの研修も行っていきたい。

(3) 平成 22 年度インシデント・アクシデント状況について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

県立 3 病院における平成 22 年度のインシデント・アクシデント報告の集計について報告する。

(4) 不祥事根絶策の取組状況等について

【説明】病院局総務課、経営企画課

病院局における不祥事根絶策である物品調達の見直し及び職員倫理の確立に向けた取組状況を報告する。

【質疑等】

管理者：医療器械等調達適正化委員会について、外部委員の選定基準はどのようなものか。

病院局：公認会計士、弁護士、医療機関の医師、大学の医師等を考えている。

(5) その他

・次月分（9 月分）の病院局戦略会議の議題案について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

9 月分の病院局経営戦略会議の議題案について報告する。

・コンプライアンスハンドブック（県立病院版）について

【説明】病院局総務課 政策調整担当

コンプライアンスハンドブック（県立病院版）の作成に当たり、作成の目的及び経緯、また、コンプライアンスハンドブック（県立病院版）の概要について説明する。

・県立病院を良くする会について

【説明】病院局総務課 政策調整担当

平成 23 年 9 月 8 日（木）に開催される「県立病院を良くする会」の構成について説明する。

【質疑等】

管理者：「県立病院を良くする会」にも関係する話になるが、各病院の方向性については、3 病院とも規模は違うが、急性期病院として新入院患者を増やすこと、そして、平均在院日数を減らすことを意識していかなくてはならない。そのためには、まず、クリティカルパスが活用できているか。クリティカルパスは6か月に1度は見直すようにしてほしい。特に、各病院でメインとなるいくつかの疾患についてできているかを確認してほしい。2 点目がベッドの回転率、病床運用についてである。看護局が主体となってい、各診療科がサポートするような体制を取ってほしい。最後に、選択と集中である。県立病院の役割として、多くの医療機能を担っているが、選択と集中によって、いくつかの医療機能に特化していかないと病院経営としては成り立たない。平均在院日数を減らして、病床利用率は増やす。相反するようだが、新入院患者を増やせばできる。3 病院において、規模や収益の大小がそれぞれある中で、急性期病院としてやっていくには3つの処方箋しかないと思う。